

世襲制限を考える



また、私たち議員にとって選挙とは、自分の過去、現在、未来をさらけ出し、自分の声で政治への情熱を訴え、選挙民の皆さんの審判を受けるという大切な関門です。選挙では容赦ないご批判をいただいて落ち込むことも多々ありますし、体力と気力の限界をはるかに超え、声の限りに皆さんに自分の実現したいことを語り続けても誰にも耳を傾けてもらえないこともあります。そんな中で、本当に求められる政策はなんなのか、それに向けてどのように動いていけばいいのかと日々苦しみながら考えていくチャンスなのです。タレント候補問題でも挙げられる問題点ですが、もし世襲候補であることで選

次期衆院選を控え、このところ、世襲制限をめぐる話がよく話題に上っています。

自民党の菅義偉選対副委員長や河野太郎衆院議員らが中心となり、国会議員の世襲制限や定数削減を検討する議員連盟「新しい政治を拓く会」が活発な情報発信を行っており、皆さまの耳に入る機会も増えているのではないのでしょうか。

引退時、関係する資金管理団体や政党支部が集めた資金を党に寄付するなど、世襲候補の特権をはく奪する内容を、次期衆院選の政権公約（マニフェスト）に盛り込むべきとの意見もあがっています。世襲候補は、一般に「地盤（後援会）、看板（知名度）、鞍（選挙資金）」の3パンといわれる特権により、他候補よりも有利に選挙戦を進めることができるのではないかとされています。そしてこれらの特権を享受するかわりに、過剰に地元にはかり有利な政策を進めてしまい、国自体を良くするような政策に身を捧げないようなモラルの低い議員が生まれてしまうのではないかとという声が高まった結果、この世襲制限の話が出てきたわけです。意欲のある優秀な人材でありながら、既得権益化した3パンを受け継ぐ世襲候補の優位性に歯が立たずに議員になるチャンスが奪われる人がいるのではないかとこの懸念もあります。

げっかんせふり
月刊脊振

福岡県議会議員
(南区選出)

ひぐち明後援会会報誌

ひぐち明後援会事務所
〒811-1311

福岡市南区横手 4-5-1

TEL.092-573-1892

FAX.092-573-1897

ホームページ

www.higuchi-akira.com

挙があまりにも有利に進むのであれば、その産みの苦しみを味わうチャンスも失ってしまうことになり、その後の議員としての活動に大きなマイナスとなることは間違いありません。

問題解決への正しい道筋を考えるべき

しかし、親が政治家だからといって、優秀で情熱のある人が議員になれない、または愛する地元を離れなければならないというルールについては、軽々に賛同はできません。

私にとって、地元への愛や感謝の気持ちは日々の政治活動の原動力であり、もっとも身近なところから全体を見渡すという視点も、地に足のついた政策を作るには欠かせない要素でもあります。また、選挙民の皆さんにとっても、地元で育った政治家であれば人となりもわかりやすく、本当に政治への情熱を持った候補なのかどうかについても判断がしやすいという面もあります。

そのように考えると、世襲議員ではなく、身内に議員はいない私ではあります。世襲制限の話ばかりがクローズアップされることには違和感を覚えます。

既得権益の継承や、議員と地元の一部企業との癒着などの懸念を払拭するには、もっと地方に財源を移し、国会議員の権力の及ぶ範囲を狭めるなど、より抜本的な解決策が必要であり、世襲制限で問題の多くが解決するとは思えないという点にも注目すべきでしょう。

また3パンによる過剰な優位性という懸念についても、中選挙区制の見直しなど、本当に民意を反映した選挙を行えるよう議論を重ね、そしてなによりもっと国民の皆さんに関心を持ってもらえるような政治を行い、モラルの低い候補者が当選できないような状況を作れば払拭できる問題です。

私たち議員が、もっともっと寸暇を惜しんで選挙民の皆さんと語り合い、政治への関心を呼び起こすと共に皆さんのご意見を賜る機会を増やして、本当に民意を反映させた政策を精力的に推し進めることこそ、世襲の問題にまつわるすべての懸念を吹き飛ばし、日本をよりよくするための第一歩となります。

皆さま、是非、実際に議員の目を見て話を聞いてみてください。そして信頼に足る人物なのか、判断してください。その審判の目にさらされても恥じずいられるよう、自分で望んで飛び込んだこの道に身を捧げていきたいと思っています。

南区トピックス

とうとう、福岡でも新型インフルエンザの国内感染者が確認され、博多区で3校（6月8日時点）の休校が決定しました。今年も、南区ではまだ旧型インフルエンザの学級閉鎖数は0件、福岡市全域でも中央区で1件あるだけだったので、弱毒性とはいえやはり小さなお子さまをお持ちの親御さんなどに不安が広がっているようです。また、現在、南区では百日咳が警報レベルに達しているとの報告があがっています。うがいと丹念な手洗いを励行しましょう。

感 このたび、5月20日付で警察常任委員会 委員長に就任いたしました。
謝 皆様方から県議会に議席を与えていただいた賜物と厚く御礼申し上げます。
 安全・安心な福岡県づくりに全力で取り組みますので、
 これからも御指導の程、宜しく願い申し上げます。



< 4・5 月度の活動 >



<4月21日：県庁見学>

宮竹校区の皆さんご来庁ありがとうございました！
 知事にもお会いできて良かったですね。



<5月20日：福岡県産業廃棄物協会総会>

総会のご盛会誠にありがとうございました。
 21世紀の良い環境づくりは皆様にかかっています。



<5月22日：第6回ひぐち明を囲む昼食会>

当日は200名を越す企業の方々にお越しいただき
 思いのたけを述べさせていただきました。今後も本音で
 語り続けます。ご参加誠にありがとうございました。



<5月23日：県政報告会（塩原校区）>

山崎拓代議員をお招きしての国政・県政報告会でした。
 塩原校区のみなさま、ご参加ありがとうございました。

ひぐち明のあきらめないブログ

潮干狩りにいってきました（5月13日付記事より）



週末に、室見に潮干狩りに行ってきました。
 私も家族で行きましたが、本当に多くの家族連れが来てい
 ました。皆さんが楽しそうに貝を探している姿はとても幸
 せな光景でしたよ。

5月の心地よい気候のなか、家族で泥だらけになって貝を
 集め、家に帰って親子で一緒に食卓を囲む。

そんな心とむ休日もいいものです。

貝の探し方や砂抜きなど、都会にはなかなか知る機会
 のないことばかりで、息子も興味津々でした。

室見川には、驚くほどたくさんの貝や小さな魚や蟹などが
 暮らしており、彼らのためにもこの環境を守り、よりよく

していかなければという気持ちを新たにすることもできました。貝も、とても味が濃くておいしかったですよ！